

幼稚園・家庭教育学級で進める保護者対象の「情報モラル研修プログラム」の開発と試行

岡山学校情報化研究会 平松 茂 (環太平洋大学)

研究概要：情報化の進展は急速で、あらゆるモノに通信機能を持たせる時代が目前に迫っている。筆者らは、情報モラルに焦点を当てて研究するとともに講演活動を行いながら、小学校、中学校、高等学校及びPTA、一般に啓発を行ってきた。しかし、寄せられる悩みや相談を聞くにつれ、問題が複雑、深刻になっており、手の付けられない状況に無力感さえ抱くことがある。

こうした状況を冷静に考えてみると、「約束を守る」とか「基本的な生活習慣を身に付ける」という子育ての基本に立ち返る。この子育ての基本がセルフコントロールに繋がり、ひいては情報社会の中で適切な判断や行動のできる人材育成につながることはないかと考えた。また、基本的な生活習慣の多くは、幼児期に形成されるのではないかと考えた。

本研究では、幼稚園の親子に焦点を当て、必要なアニメーション教材を開発するとともに、研修プログラムを開発し研修会の試行とアンケートにより効果を検討した。

その結果、メディア利用に関して親子間で「約束がある」14%、「約束を作った」20%、「約束を見直した」28%と半数を上回る家族が約束の大切さを認識していることが分かった。本研究により幼稚園での親子の研修の意義に手応えを得た。

表1 開発した研修プログラム

	テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④
研修	ネット社会における知識	規則正しい生活習慣	ペアレンタルコントロール	親子の運動遊び
対象	幼児の保護者	幼児とその保護者	幼児の保護者	幼児とその保護者
時間	60分	30分	60分	30分
教材	アニメーション	エプロンシアター	ゲーム機体験	親子運動遊び
内容	<ul style="list-style-type: none">・ネット社会の現状・子どもの安全	<ul style="list-style-type: none">・規則正しい生活習慣・約束の大切さ	<ul style="list-style-type: none">・ゲーム機の体験・使用制限の設定	<ul style="list-style-type: none">・運動遊び・親子のふれあい・親子の心の絆づくり



図1 開発した教材アニメーション



図2 エプロンシアターを演じる大学生